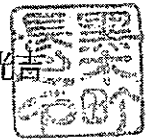




20黒管理第194号
平成20年10月14日

国土交通省 道路局長 殿

黒木町長 小川 光吉



今後の道路行政についてのご意見・提案について（回答）

標記の件については別紙のとおりご意見・ご提案についての回答書を提出します。

記

提出書類

今後の道路行政についての意見・提案

- | | |
|------------------------------|------|
| ①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案 | 様式 ① |
| ②-1 地域の現状と抱える課題 | 様式 ② |
| ②-2 地域の目指すべき将来像 | 様式 ③ |
| ③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等） | 様式 ④ |

以上

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案

福岡県 黒木町

◎ 重点化政策

① 時間距離の短縮

時短による品物やサービスの限界的供給地の広がりによる質・量の向上と、地域の活性化による地域間格差の解消

ア) 既存国県道未改良区間の整備促進

イ) バイパス等整備促進に係る国の支援

② 交通弱者・事故対策

幼児、児童生徒や高齢者及び障害者等の保護と事故減少のための取り組み

ア) 幼児や児童生徒、高齢者及び障害者等いわゆる交通弱者の安全を確保するための取り組み（道路勾配・曲線の緩和、夜間照明への配慮、見やすいサインや学校保育園周辺で通学路のマウンド化等）

イ) 年間 100 万人以上の交通事故死傷者を減少させるためのハードソフト両面からの対策

（乳幼児・児童生徒を対象とした交通安全教室へのドライバーの参加義務、見やすくわかりやすい交通安全施設の検討（色・大きさ・高さ・音等）、カーブ区間の視距改良）

③ 災害対策

温暖化による災害の頻度・強度が増大することへの対処

ア) 災害に強い道路の建設

（代替道路のネットワーク化、山間部での路側帯の確保、道路沿線の植栽制限）

②－１ 地域の現状と抱える課題

福岡県 黒木町

○現状

- ① 黒木町を始め奥八女地方は、福岡都市圏から 1 時間半圏にあり、しかも八女茶を始め豊富な農林産物を産出するにもかかわらず少子高齢化が急進行し人口の流出（19 年度 1 年間で 3.2% 減）と高齢化（平成 20 年 9 月現在 33%）が激しい。

② 環境に配慮した道路建設

③ 景観とマッチした道路建設

○課題

- ・九州道の IC までの道路整備が進むことにより、福岡都市圏との時間距離が短縮でき、農林産品や観光等のサービスの提供が改善され、過疎化を阻止でき消費者と生産者双方の満足度が向上する。

・環境に配慮した道路

植物による排ガスの影響緩和

ア) 沿線の植栽等に配慮した道路の整備（透水性舗装による沿線植物への配慮）

イ) CO2 を吸収する緑のある道路の検討

・景観とマッチした道路

森や並木が続き、走るのに心地よい道路の建設

ア) シーニックロード的な心安らぐ道路の整備

イ) 景観の妨げにならないよう配慮された案内板等の設置

◎効率化の徹底

① 道路計画

道路の新設・修繕の計画作成のための調査

ア) 費用対効果の検討（費用対効果に地域格差是正の観点を）

イ) 道路アセットマネジメントへの支援

（橋りょう等の長寿命化と費用削減のための修繕計画に対する調査や維持補修等への支援）

ウ) 規制や通行量と道路構造の整合（道路の設計と規制が乖離している）

② 道路付帯施設

案内板サインの統一

ア) サインや案内板の整備（色彩・形状・大きさ・高齢化への対応等）

③ 地域活性化の視点

ア) 高い強度を要しない安全柵や防護壁に地元産木材を活用

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

福岡県 黒木町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 高規格道路網の建設 国道 3 号の高規格化道路建設 ・ 地域活力の向上 一般国道 442 号バイパス建設	・ 黒木～久留米市そして、公共交通機関を利用した福岡都市圏への 1 時間通勤圏にする ・ 現在、黒木町で建設中の都市計画道路本分陣の内線より国道 4 4 2 号の湯辺田間を国道のバイパスとして道路整備を国又は県事業で採択をお願いした。	・ 黒木町から久留米市まで通勤が 30 分、公共交通機関を利用して、福岡市迄の通勤が 1 時間で可能になることにより、過疎が進む奥八女に若者が定住しやすくなる。 ・ 大分～大川へ通じており、黒木町内の国道を拡幅することが困難であるため都市計画道路本分陣の内線の終点～国道の湯辺田までを国又は県事業として道路整備を要望します。 整備後は一般国道 442 号のバイパスとして利用することにより、福岡、筑後及び佐賀の都市圏と阿蘇、九重方面を結ぶ道路として奥八女地域を始め、熊本、大分の産業・観光の振興に大きく寄与するものである。	